

市の将来都市像

人と地域が主体のまち
人が集まり、豊かに
すごせる魅力あるまち
活躍する人が育つまち



献血・骨髄
バンクにご協力を

夏季献血キャンペーンを実施します

輸血技術の進歩に伴い、血液の需要は年々増加していますが、暑さの厳しいこの時期は献血者が減り、血液の確保が困難です。そこで、献血に対する理解を深めていただき、献血運動をより一層推進するために、「夏季献血キャンペーン」を実施します。骨髄バンクドナー登録会も同時開催します。

病気やけがで治療を待っている患者さんのために、皆さんのご協力をお願いします。

日時 7月15日(土) 午前11時～午後2時(受付時間午後2時～午後5時45分)

問 福祉総務課 ☎724・2537、FAX 724・1187(町田市献血推進協議会事務局)

あなたの「エコ」教えて下さい! 「わが家(わが社・わが校)のエコライフ自慢」を募集します

近頃、「エコ」という言葉を見聞きすることが多くなってきました。テレビやラジオの放送の中で、スーパーやコンビニで、くらしの中の様々な場面で「エコ」という言葉が使われています。

一方で、地球温暖化やごみ問題など、私たちが取り巻く環境問題の要因の多くは、私たちの生活によるものであることを忘れてはなりません。

このような環境問題を解決するためには、私たち一人ひとりがエコライフ(環境に配慮した生活・活動)を意識し、実践していくことが大切です。

そこで市では「わが家(わが社・わが校)のエコライフ自慢」と題して、あなたのご家庭や職場、学校などで取り組まれている様々な環境配慮行動を募集し、広報や町田市ホームページで広く紹介していきます。

「ちょっとした工夫で地球に優しく、家計も潤いました!」「みんなに教えたい!」などといったご家庭での工夫や、商店街や学校など地域で一緒に取り組んでいることなど、ふるってご応募下さい。

応募資格 市内在住、在勤の方
または市内にある企業・学校等
応募方法 応募用紙(境川クリーンセンター内環境保全課にあり)に必要事項を記入の上、直接または郵送で環境保全課(〒194・0033、木曾町205、☎724・2711)へ。

募集締切 9月30日(消印有効)

応募用紙は町田市ホームページ(市の取り組み 環境に関する取り組み 町田市環境白書)からダウンロードできます。また、ご連絡いただければ郵送します。詳細は応募用紙に添付された応募要領をご覧ください。

問 環境保全課 ☎724・2711

本日の新聞には「こみゼロ市民会議特集」が折り込まれています。ご覧下さい。

東京田中短期大学 桜美林学園と 災害時の飲料水の確保のため 協定を結びました

市では災害発生時の飲料水を確保するため、東京田中短期大学及び桜美林学園と、「災害時における応急給水に関する協力協定」をそれぞれ4月1日、5月1日に締結しました。

これは、両校にある受水槽を災害時応急給水施設として地域の住民に可能な限り給水開放していただくというものです。

水はあなたの命を守ってくれます。

問 防災課 ☎724・2107

町田市助役に 町田修二氏が 就任

6月26日に開かれた市議会本会議で同意を得て、助役に町田修二氏が7月1日付で就任しました。任期は4年です。

町田修二助役
昭和27年生まれ、53歳。昭和46年東京都就職、都市計画局建築指導部副参事(建築防災担当)、都市計画局市街地建築部市街地企画課長(統括)などを歴任、平成17年4月から都市整備局都市づくり政策部土地利用計画課長(統括)。

市民病院・女性総合外来は電話予約制です

女性総合外来は、女性の心、からだ、生活に配慮した医療を提供するための女性診察専用の窓口です。

相談日 毎週月曜日午後
臨床心理士による初回相談料 3000円(税別)
予約電話の受付は月～金曜日、午前9時～午後4時(土・日曜日、祝日を除く)に受け付けます。

受付電話番号 ☎722・2230内線300



(06.5.4)



(05.6.13)

三輪町のハラピロトンボ

「名前どおり腹が広く見えるね」とこやかな先生のお話。長野市郊外、戦爆によって残された校舎の一部改造新制中学校裏の田んぼ、私の虫好き生涯を決する恩師、山本初治先生との出会いが、ここだった。教師を目指し、この年まで虫と戯れることができたのも、先生のお人柄に惹かれたからである。

このハラピロトンボに再度出会ったのは、三輪町に残された貴重な田んぼだった。私の中学生時代、身近な図鑑など皆無。あれから六十年にもなるのに、このトンボとの出会いがきわめて鮮明である。「と」では、模様が同じで色が異なる」と先生のお話が続き、この世界から見てみたい。今まで私が町田市で生息を確認したチョウ類六十九種めとしてここに紹介するムラサキシジミで見ておく(03・11・7町田市産保存標本写真参照)。は紫色が濃く、輝きも派手。は澄んだ空色、輝きも強くない。このようにチョウには性差のあるのが普通で、はけばけばしく派手、これが美しいとよく言われるが、さて...。は目立たないものが多い。子孫を守るためと言われるが、さて...。まあ、交尾相手を間違えないあたりが無理のないところか。しかし、視覚ではなく臭覚との見方もある。

ムラサキシジミは、本州以南に分布する南方系の種で寒冷地では稀、長野県育ちの私には、少年時代のあこがれの的であった。幼虫はカシの仲間やクヌギ、コナラなども食べ、体こそ小さいが飛ぶ力は強く、活発に飛び回る。

ひっそり生きる町田の自然

(その20・最終回)
ハラピロトンボとムラサキシジミ

「町田の自然を守ってきぬ野人に感謝!!」

自然の不思議さ、この深さ。三輪町コシアキトンボ寝ぐらには、場所が限られ数も多くはないが、五・六月に細々ながら毎年発生している。この事実が気付かれた同好の大西公一氏(川崎市在住)のご好意で貴重なハラピロトンボの記録写真をここに掲載させていただきます。アキアカネより腹部が幅広く、一見して区別できる。日本では、本州・九州、さらには大陸へと分布を広げる。

さて、この雌雄の色彩差をチョウの世界から見てみたい。今まで私が町田市で生息を確認したチョウ類六十九種めとしてここに紹介するムラサキシジミで見ておく(03・11・7町田市産保存標本写真参照)。は紫色が濃く、輝きも派手。は澄んだ空色、輝きも強くない。このようにチョウには性差のあるのが普通で、はけばけばしく派手、これが美しいとよく言われるが、さて...。は目立たないものが多い。子孫を守るためと言われるが、さて...。まあ、交尾相手を間違えないあたりが無理のないところか。しかし、視覚ではなく臭覚との見方もある。

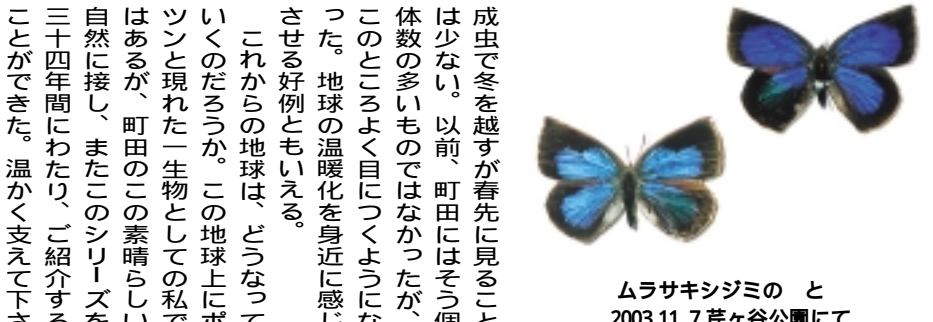
ムラサキシジミは、本州以南に分布する南方系の種で寒冷地では稀、長野県育ちの私には、少年時代のあこがれの的であった。幼虫はカシの仲間やクヌギ、コナラなども食べ、体こそ小さいが飛ぶ力は強く、活発に飛び回る。

広報広聴課より

このシリーズ「ひっそり生きる町田の自然」は昭和48年5月1日から今号まで270回続いたもので、通算で4人の執筆者によって連載してきたものです。

現在、このシリーズを何らかの形でまとめることを検討しています。また、今後の読み物についても、新たなシリーズを考えていきたいと思っております。

長い間のご愛読、ありがとうございました。



ムラサキシジミの と 2003.11.7 芹ヶ谷公園にて